

サビックス	5年		
	算数		
学習内容	4月の学習内容 第7回「立体図形(1)」 第8回「旅人算(1)」 第9回「旅人算(2)」		
家庭学習ポイント	<p>「立体図形(1)」では、角すい・円すいの体積、角柱・円柱の体積と表面積～水槽の水の問題まで、幅広く扱います。まずは角すい・円すいの体積を求める公式、角柱・円柱の体積と表面積を求める考え方をしっかり理解し記憶することからです。角柱や円柱の体積、表面積で注意しなければならないのは、「くり抜き」や「切り取り」がある立体です。問題で示される「見取り図」(斜め上から立体を見た図)では見えにくい部分をもれなく計算する必要があります。特に表面積では、基本的な柱体の側面積であれば1つ1つの面について考えてもよいのですが、複雑な図形になると「底面の周りの長さ×高さ」で統一して計算しないと煩雑で、時間もかかり間違える可能性も高くなります。お子さんがスムーズに計算をこなしているか、ぜひチェックしてあげてください。「旅人算(1)(2)」では、速さの文章題として「定番」の旅人算から始まり、ダイヤグラムを使った解法までを学習します。2者の速さの差を使って考える「追いつき」、速さの和を使って考える「出会い」の2パターンが基本です。考える際には式だけではなく線分図に状況を正確に反映させ(このような図を「状況図」と呼びます)イメージを「見える化」して考えるのもポイントです。ダイヤグラムでは縦軸に距離、横軸に時間をとって進行の様子を表しますが、まずは基本的な「書き方」「使い方」をマスターしましょう。そのうえで「どのような問題についてダイヤグラムを使うことが有効なのか」を考えることが重要です。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	くり抜き図形や切り取り図形の表面積を正しく計算できていますか?	チェック
	解決策	不正解が目立つ場合は、計算の手順(特に側面積)を見直してみよう	<input type="checkbox"/>
	チェック2	水槽の問題ではつねに「断面図」を書いて考えていますか?	チェック
	解決策	水槽の問題を考える際の「定番」です。特に柱体を立てて入れる問題では必須です	<input type="checkbox"/>
	チェック3	時間の単位換算は素早く、正しくできていますか?	チェック
	解決策	特に「2/3時間=40分」「51分=51/60時間=17/20時間」といった換算を間違いなくできることは重要です	<input type="checkbox"/>
	チェック4	線分図(状況図)を書かずに式だけで旅人算の問題をすべて解こうとしていませんか?	チェック
	解決策	「忘れ物に気づいて引き返す」といった問題になると式だけではミスの可能性が大きくなると伝えてあげましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	ダイヤグラムを書いて解いているが「なぜ使っているか」がわかっていますか?	チェック
解決策	グラフは「時間の経過」を見る化するために書く、つまり「時間がポイントになる問題」に有効です	<input type="checkbox"/>	

サビックス	5年		
	国語		
学習内容	4月の学習内容 第7回「コトノハ/祖父母の家で 物語文」 第8回「コトノハ/見えない世界への旅路 説明文」 第9回「コトノハ/あこがれの放送委員 物語文」		
家庭学習ポイント	<p>5年生のサビックスの国語では、物語文と説明文/論説文を交互のような形で扱い、それぞれの文種の読み方の技術を付けていく学習が進みます。物語文では「心情変化」に及ぶ「きっかけ」と「背景」の理解を徹底していきます。いずれも文章中の「場面」や「情景描写」やその変化から読み取っていくという趣旨で、「読んで物語のあらすじがわかったら解ける」といった問題はいよいよなくなっていくと思います。論説文で身につけるべき技術は「因果関係」や「言い換えと対比」などをともに筆者の「主張と根拠」を読み解いていく技術で、5年生1年間の国語の学習テーマとなります。その意味では宿題、テストについても「解きっぱなし」は厳禁で、つねに解いた後の「確認」は解く作業以上に重要と考えましょう。答えが正解だったかどうかだけでなく「どうしてその答えを選んだのか」「答えの根拠は本文のどの部分の記か」といったことを考えることが重要です。同時並行で「コトノハ」「漢字の学習」による語彙の学習についても継続していきましょう。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	物語文の登場人物の気持ちの的確につかめていますか?	チェック
	解決策	「このとき〇〇(登場人物)はどんな気持ちだったのかな」といった質問で、心情を考える習慣をつけさせる	<input type="checkbox"/>
	チェック2	漢字や語句の学習について「いつ」「どのように」という「ルーティン」が決まっている?	チェック
	解決策	「いつやるか」とともに「どうやって」も決めることが大切です(親が出題→子どもが答える なども有効です)	<input type="checkbox"/>
	チェック3	マンスリーの選択問題の正答率50%くらいの問題は正解できている?	チェック
	解決策	つねに「本文に戻って確認」を面倒がらずに続けることを伝えてあげましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック4	Bテキストの記述が「納得ずく」で書けていますか?	チェック
	解決策	B授業を受けて「ただ書いているだけ」になっているようなら、1問ずつ解答の根拠を一緒に本文から探しましょう	<input type="checkbox"/>
	チェック5	素材文の内容を詳細まで理解できていますか?	チェック
解決策	Bテキストの問題を一緒に丁寧にたどっていくと、お子さんが素材文をどれくらい読み取れているかわかります	<input type="checkbox"/>	

サビックス	5年		
	理科		
学習内容	4月の学習内容 第7回「蒸散と植物のつくり～植物のつくりとはたらき③～」 第8回「ろうそくと燃焼～物質の性質と変化③～」 第9回「豆電球と乾電池～電気のはたらき①～」		
家庭学習ポイント	<p>「蒸散と植物のつくり～植物のつくりとはたらき③～」では、植物の根・くき・葉のつくり、そして蒸散の仕組みについて学習します。植物の根・くき・葉のつくりについては単子葉植物と双子葉植物でそれぞれ違いがあるので、「双子葉植物⇔主根・側根⇔くきの維管束が輪のように並ぶ⇔葉脈は網目」と一通り覚えてしまう必要があります。身近にある植物で双子葉のもの、単子葉のものを確認できるといいですね。お出かけ時に見かけた植物などについても、葉の葉脈を確認するなど、学習を日常に落とし込む工夫をするのもいいでしょう。蒸散といえば、実験問題が入試や模試に頻出です。塾では植物から水が蒸散する場所（葉の表・葉の裏・茎）を書き出し表にして考えることを習うと思いますが、その方法がベストというより「唯一」ですので、しっかり手順を覚えるようにしてください。「ろうそくと燃焼～物質の性質と変化③～」では、ろうそくの炎に関する知識とともに、木の蒸し焼き（乾留）も学びます。実験のとき「試験管の口を下げる理由」も頻出ですので、「加熱部分に液体が流れ込むと試験管が割れるから」と答えられるようにしておいてください。実験の手順についての記述問題でもっとも問われやすいのは、安全に関することだということも知っておくとよいと思います。「豆電球と乾電池～電気のはたらき①～」こちらも苦手とするお子さんが多い単元ですが、「電流」「電圧」「電気抵抗」のイメージをできるだけ具体的に掴むことが大切です。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	双子葉植物と単子葉植物、しっかり区別して覚えられていますか？	チェック
	解決策	単子葉植物で覚えるべきものは多くがイネ科やユリ科（イネ・ムギ・トウモロコシ・ススキ・チューリップ…）です	□
	チェック2	蒸散の実験問題を解くとき、すぐに表を書いて解き始めていますか？	チェック
	解決策	上記のように「定番」であり「必須」なので、そう伝えてあげましょう	□
	チェック3	理科のテキストの表紙や「理科の図鑑」に目を通していますか？	チェック
	解決策	「表紙の復習」を上手に活用しましょう。実力テストに効きます	□
	チェック4	ガスバーナーの使い方（手順）を正しく答えられますか？	チェック
	解決策	すべての手順には理由があり、その大本の考え方は「安全」です	□
	チェック5	電流・電圧・電気抵抗についてお子さんなりの「イメージ」を持っていますか？	チェック
解決策	「電流＝ホースの中の水の流れ」「電圧＝水を押し出すポンプの力」「電気抵抗＝水の流れを妨げるもの」	□	

サビックス	5年		
	社会		
学習内容	4月の学習内容 第7回「世界の地理～」 第8回「関東地方のまとめ（1）」 第9回「関東地方のまとめ（2）」		
家庭学習ポイント	<p>「世界の地理」ではアジア、アメリカ・オセアニア、ヨーロッパ・ロシア・アフリカといった世界の国々の地理について学んでいきます。世界地理そのものは中学受験の社会の範囲からはずれませんが、概論的な学習となります。それが終わるといよいよ日本の地方別の学習に入ります。「関東地方のまとめ（1）」では、関東地方の都市と人口、自然、産業について、そして（2）では工業地帯、交通、特徴のある都市について学びます。工業については内陸部（機械工業）と沿岸部（重化学工業）に分けて整理して覚えるのがポイントです。表紙裏を参考に、伝統工業についても覚えておきましょう。特に伝統工業は場所と絡めて、地図上でも場所を特定できる状態にしておくことが重要です。また関東地方は人口の多い首都圏に供給するため、第一次産業が非常に盛んな側面もあります。武蔵野や下総台地の近郊農業、群馬県嬭恋村の高冷地農業、なども言葉だけではなく、どのような自然環境から生まれたどのような農業なのかを説明できるようにしておくことが大切です。</p>		
課題の把握と解決策	チェック1	テキストの表紙、「クローズアップ社会の眼」は読んでいますか？	チェック
	解決策	より深く当該単元を理解し、写真や資料などで確認できるページです。有効活用を！	□
	チェック2	日本地図を確認できる状態で学習に取り組んでいますか？	チェック
	解決策	各地方の学習をしているときも、つねに日本全体のどの部分を学んでいるのか確認するようにしましょう	□
	チェック3	「授業の確認問題」の記述は書けていますか？	チェック
	解決策	特に難関校志望のお子さんは、外せない部分になります。自分の言葉で書いてみるよう声かけしましょう	□
	チェック4	用語の「丸暗記」が地理の勉強だと思いませんか？	チェック
	解決策	丸覚え学習にならないよう、テキストの「もっと知りたい」・解答の「生徒の皆さんへ」などを徹底活用しましょう。	□
	チェック5	テキスト以外のツールも活用していますか？	チェック
解決策	地理では都道府県のシルエット問題なども頻出です。アプリなどでどんどん試せるものもあるので活用しましょう	□	